

2022年11月14日

各位

日本機械輸出組合
専務理事 赤津光一郎

JMC エキスパートセミナー 「日本企業のグローバルサプライチェーンと知的財産権に係る諸問題と対応策」の ご案内

近時、「グローバルサプライチェーンの強靱化」の重要性が日本企業の間でも広く認識されるようになっていきました。これに関しては、特にSDGs（環境規制、「ビジネスと人権」等）や経済安全保障、原材料費・人件費の高騰、物流の停滞等の問題が議論されてきましたが、「知的財産権」との関連でも、グローバルサプライチェーンにおいて様々な問題が生じています。例えば、最近の事例としては、日本製鉄がトヨタ自動車、三井物産、中国の宝山鋼鉄を特許侵害で訴えたケースが挙げられます。このケースはまさに、グローバルサプライチェーンにおける知的財産権が争点となった事例です。現在では、多くの日本企業が、日本と海外に跨るグローバルサプライチェーンを有していますが、関連する知的財産権問題を十分に検討し、知的財産権紛争に備えておく必要があります。

そこで今般、当組合では、「日本企業のグローバルサプライチェーンと知的財産権に係る諸問題と対応策」について報告書を取り纏めました。本セミナーでは、日本企業のグローバルサプライチェーンにまつわる知的財産権問題にはどのようなものがあり、日本企業はどのように対応していけばよいのか等報告書のポイントを分かりやすくお話しさせていただきます。

◆日時 2022年12月13日(火) 14:00~16:00

◆テーマ 「日本企業のグローバルサプライチェーンと知的財産権に係る諸問題と対応策」

◆主な講演内容（本報告書より抜粋）

- ・海外メーカーが生産した部品が第三者の特許権を侵害する場合の完成品メーカー及び商社の法的責任
- ・国内外を跨って特許侵害行為を実施した者の法的責任（「ドワンゴ対FC2事件」等）
- ・ロックダウン生産方式において、海外メーカーに部品を供給した日本企業の特許侵害責任
- ・完成品の特許権者が国外で譲渡した部品を用いて、第三者が完成品を生産・販売する行為は、完成品の特許権の侵害となるか（「アップル対サムスン事件」等）
- ・日本企業の技術秘密を国外で漏洩した者、海外企業の技術秘密を国内で漏洩した者の法的責任
- ・グローバルサプライチェーンの再編にあたっての知的財産権の問題点

◆講師 BLJ法律事務所 弁護士・博士（法学） 遠藤 誠 氏

◆形式 Zoom ウェビナー

※ ウェビナー開催日前日に、ウェビナー参加用のURL 及び講演資料をお送りします。
また、**ご参加者には、セミナー終了後、本報告書を電子にてお送りさせていただきます。**

◆参加費 組合員：無料 / 一般：2,000円（税込）
当組合加盟企業リスト <https://www.jmcti.org/publication/kumiaiin.php3>

◆お申込み方法 参加ご希望の方は、12月7日（水）までに、以下のアドレスからお申込みください。
<https://www.jmcti.org/jmchomepage/semminar/expert.htm#chizai>

◆キャンセル方法 12月9日（金）まで、下記事務局までメールにてご連絡ください。
※ご不明な点等ございましたら、下記事務局までご連絡ください。

お問い合わせ先：日本機械輸出組合 通商・投資グループ 庫元（くらもと）、江川

TEL：03-3431-9348 E-mail：<mailto:tohshi@jmcti.or.jp>